

# 農業の新しい技術

No. 751 (令和5年(2023年)6月)

分類コード 01-14

熊本県農林水産部

## 褐毛和種種雄牛「菊幸」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室  
担当者：福島敬太

### 研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、産肉能力現場後代検定及び育種価評価を実施し、その結果に基づき優秀な種雄牛を選抜する。

### 研究の成果

1. 枝肉重量と脂肪交雑に優れた褐毛和種種雄牛「菊幸」を選抜した。

○血統

父 菊鶴E T I (繁殖 170)	祖父 菊光丸(高 86)	— 第三光丸(高 71)
	祖母 あじさい(繁殖 21528)	— 第十六光重(育高 2)
母 たとく 1 (繁殖 25765)	祖父 弦幸(繁殖 177)	— 第四弦光(高 88)
	祖母 きんらい(繁殖 22929)	— 光重球磨(繁殖 91)

○登録番号：繁殖 2 3 0

○生年月日：平成 2 9 年 8 月 1 日

○生産地：玉名市横島町（独立行政法人家畜改良センター熊本牧場）

2. 現場後代検定成績および育種価

○枝肉重量及びばらの厚さは、全体平均で 519.0kg、8.4cm と歴代トップクラスの成績であり、育種価でも枝肉重量 53.75kg(評価種雄牛 539 頭中 7 位)ばらの厚さ 0.85cm(同 8 位) と高い評価となった。

○BMSNo. は去勢 5.33、雌 4.60、全体平均で 4.88 と優れており、育種価でも 2.44(評価種雄牛 539 頭中 15 位) と高い評価となった。

○SBVは枝肉重量 2.53、BMSNo. 2.09、ロース芯面積 1.53、ばらの厚さ 2.48、皮下脂肪の厚さ-1.11 と皮下脂肪を除く項目について改良効果が大きいと推定される。

※SBV(標準化育種価)とは、産肉能力の特徴を把握しやすくするため、各形質の育種価を同一スケール上で比較できるように加工したもの。

3. 特徴

本牛は、当時、歩留基準値、脂肪交雑の育種価が県内上位 10%以内(現存牛 4,805 頭中) とトップクラスの母牛と枝肉重量、ロース芯面積、脂肪交雑の能力に優れた「菊鶴E T I」の交配により作出された。それぞれの遺伝的特徴を引き継ぎ、枝肉重量の全体平均が 500 kgを超え、BMSNo. の全体平均が 4.88 と優れた成績で肉量、肉質両面の改良への貢献が期待される。

[具体的データ]

熊本県農林水産部

菊幸産子(雌)の枝肉写真  
及び枝肉成績



菊幸 (きくゆき)



格付け:A-4 枝重:492.2kg  
BMS:6 ロース:68cm<sup>2</sup>  
ばら:6.7cm 母の父:光晴重

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	BMS No.	ロース 芯面積 (cm <sup>2</sup> )	ばらの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	歩留 基準値 (%)	日齢枝肉 重量 (g)
去勢	6	528.0	5.3	60.2	8.3	3.2	73.3	710.1
雌	10	513.6	4.6	59.5	8.4	4.1	72.7	665.3
全体	16	519.0	4.9	59.8	8.4	3.8	72.9	682.1

表2 育種価(BV) (R5.3月評価)

	順位	育種価	(正確度)
枝肉重量 (kg)	7	53.75	(0.87)
BMS No.	15	2.44	(0.90)
ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> )	35	6.25	(0.85)
ばらの厚さ (cm)	8	0.85	(0.86)
皮下脂肪の厚さ (cm)	469	0.46	(0.89)
歩留基準値	193	0.32	(0.88)
日齢枝肉重量 (kg/日)	8	70.31	(0.87)

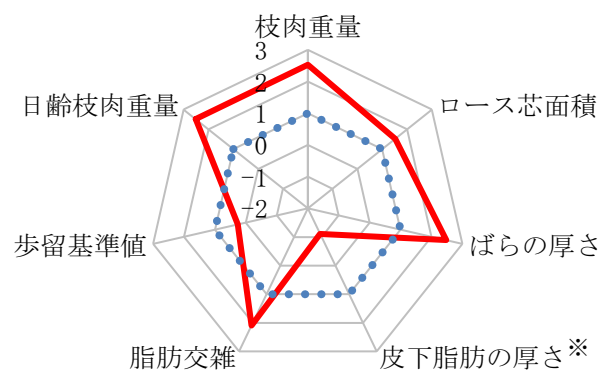


図1 SBV (標準化育種価)

後代頭数 18 頭(フィールド成績を含む)  
順位は評価種雄牛 539 頭中の順位

※ 皮下脂肪は逆符号